

話題の本

ザ・ラストバンカー

西川善文著

58歳の若さで住友銀行頭取に就任して8年間務め、その後、日本郵政初代社長も経験した希代の銀行マンの回顧録。1972年の安宅産業破綻処理から不良債権処理の汚れ仕事を黙々とこなし、バブル紳士たちが活躍する平和相銀・イトマン事件、住銀の「天皇」磯田一郎氏追放事件、銀行大合併——。「悪役」頭取の半生は誹謗中傷に彩られるが、大混乱の日本経済の最前線で死に物狂いで戦った男が赤裸々に語る密室の出来事はスリル抜群で、最高に面白い。



講談社
1680円

外務省に告ぐ

佐藤 優著

刺激的な暴露話が満載。特にキャリア外務官僚のカネ、女に対する醜聞、語学能力欠如の無能外交官が実名で登場するのを読むと、衝撃を通り越して外務省への猛烈な怒りが湧いてくる。戦争を放棄した日本が頼るのは外交力だ。3.11で日本を賞賛した外国はその後、政治機能不全を見てあきれた。首相官邸の判断を支える外務官僚がこの体たらくだから海外に良いイメージを発信できないのか。諸外国になめられない外交の再構築へ、道は遠いようだ。



新潮社
1680円

丸善丸の内本店 週間ランキング

(10月13~19日)

新書

① 弱い日本の強い円

佐々木 融 著 日本経済新聞出版社 893円

② 武器としての決断思考

瀧本哲史 著 星海社 講談社発売 861円

③ 民法改正—契約のルールが百年ぶりに変わる

内田貴 著 筑摩書房 798円

④ 仕事をしたつもり

海老原嗣生 著 星海社 講談社発売 861円

⑤ 暴力団

溝口敦 著 新潮社 735円

⑥ 「通貨」を知れば世界が読める

浜矩子 著 PHP研究所 840円

⑦ 「リーダーの条件」が変わった

大前研一 著 小学館 735円

⑧ 知らないと損する 池上彰のお金の学校

池上彰 著 朝日新聞出版 798円

⑨ 官僚の責任

古賀茂明 著 PHP研究所 756円

⑩ 「上から目線」の構造

榎本博明 著 日本経済新聞出版社 893円

弱い日本の強い円

佐々木 融著

「為替相場は国力を反映する」「日本は世界一の財政赤字国だから円は売られ、円安になって長期金利は上がり破滅が近い」——いずれももっともらしいエコノミストの解説である。だが著者はいずれも違うと断言する。円高、円安という一見分かりやすそうで実は難しい国際為替システムを実例豊かに丁寧に説明し、「常識のうそ」を木っ端みじんにする。面倒な人は世界経済が良いと円安になり、世界不況では円高になると覚えておこう。

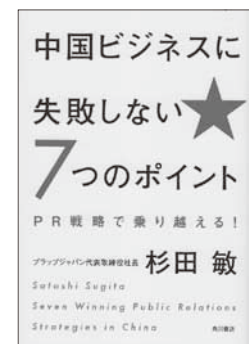


日経プレミアシリーズ
893円

中国ビジネスに失敗しない7つのポイント

杉田 敏著

1997年に日本の広報コンサルティング会社として初めて北京に現地法人を設立したブラップジャパンの社長が伝授する実践で培ったノウハウ集。反日メッセージに敏感になれ、台湾、チベット、法輪功など敏感な問題にどう対処するか、共産党・政府のコントロール下にある中国メディアとどう付き合うか、など読んで「なるほど」の内容だ。しかし、「危機は必ず起きると心得よ」も真実。中国相手の商売は見た目よりずっとリスクが大きいのである。



角川書店
1680円